

基本としている 12 通りの
ごみ処理技術の組み合わせによる処理システム

	生ごみ	生ごみ以外の 可燃ごみ	残さ、 不燃ごみ
現 状	埋 立	焼却処理	埋 立
ケース 1	焼 却 処 理		埋 立
ケース 2	溶 融 処 理		
ケース 3	炭 化		
ケース 4	高温高压燃料化		
ケース 5	堆肥化	焼却処理	
ケース 6		溶融処理	
ケース 7		炭 化	
ケース 8		高温高压燃料化	
ケース 9	バイオガス化	焼却処理	
ケース 10		溶融処理	
ケース 11		炭 化	
ケース 12		高温高压燃料化	



シリーズ⑤

現在検討している

今後のごみ処理方法

今後の新たなごみ処理方法を決定するために、昨年開催した「ごみによりよい始末を進める井戸端会議」の中で、市民の皆さんからいただいた意見や提案を取りまとめ、今年1月に開催した第4回きれいなまちづくり検討会議に報告しました。

ごみの処理方法は、埋立処理や焼却処理、バイオガス化処理など、い

溶融処理…ごみを高温で溶かす技術で、生成物は再利用できる
炭 化…有機物を低酸素または無酸素の状態です熱分解した後、発生したガスを燃焼または回収するとともに、熱分解後の炭化物は再利用できる
高温高压燃料化…圧力容器内にごみを投入後、高温高压の蒸気でごみを粉砕し、か粒状の乾燥物として取り出す技術で、生成物は燃料として再利用できる

くつかの処理方法があることを井戸端会議でお知らせしていますが、検討会議では、色々なごみ処理方法の中で、生ごみを分別して処理する場合や、分別しないで処理する場合について、処理技術を組み合わせた12通りのケースを基本に、施設整備や維持管理に必要な費用や最終的に埋め立てする量、リサイクルできる量のほか、市民の皆さんにかかる負担や課題など、それぞれ違いがあることから、これらを総合的に検証しながら比較検討しているところです。

今月号では、市民の皆さんにその処理システムをお知らせします。

なお、きれいなまちづくり検討会議は、主なごみ処理システムの先進地を視察するなど、検証を踏まえ、さらに市民の皆さんの意見を参考として、3月末までに答申をする予定です。

問合せ先 市環境対策課